

目的 ファッション・プレートとは、18世紀後半から20世紀中葉にかけて刊行されたファッション雑誌におりこまれていた図版のことで、これからくるであろうファッション情報を伝える手段であった。

ファッション・プレートの魅力のひとつに、色彩豊かな手彩色をあげることができる。手彩色の技法のひとつとして、フランス語でポショワール(Pochoir)という型紙を用いて彩色する方法がある。本研究では、ファッション・プレートのポショワールの技法について、またポショワールが用いられた背景について考察してゆくことを目的とする。

方法 18世紀末から20世紀初頭までのファッション・プレートを資料に、彩色されている部分の線や形、色彩など細部にわたる観察を行う。さらに同一のプレートを数組収集し比較する。文献調査と合わせて、各々のプレートの彩色についてその方法やプロセスも検討する。

結果 ポショワールという型紙を用いた彩色方法は古くからゲームカード、壁紙、また出版物にも用いられていた。19世紀後半からは写真を使ったポストカードの彩色、広告カタログ、包装紙、折り込みチラシなど広範囲におよび、グラフィックアート全体に浸透した。ファッション・プレートの歴史のなかでも、デザインの概念が生まれた20世紀初頭の彩色には、単純なプロセスのものから、アーティストと高度な技術を持つ職人が一体となってつくりあげたアール・デコの香り高いものまでが認められる。